

グループ商品・サービス紹介

ユニークな商品・サービス

新生銀行グループは、銀行とノンバンクの機能を併せ持つハイブリッドな総合金融グループです。

社会のメガトレンドを踏まえつつ、ハイブリッドな金融グループの強みを活かして、グループが持つ金融機能を組み合わせ、従来の金融サービスでは満たされない顧客ニーズに対応する商品・サービスの提供を目指しています。

■ 銀行業務・ノンバンク業務の利益シェア*

ノンバンク業務

■ 新生フィナンシャル ■ アプラスフィナンシャル ■ 昭和リース

■ 銀行業務

銀行業務
110 億円 / 25%

ノンバンク業務
328 億円 / 75%

2020年度実績
*与信関連費用加算後実質業務純益

用語解説
&
関連 URL

グループ紹介
<https://sp.shinseibank.com/corporate/about/group/>

個人業務

リテールバンキング業務、個人向け無担保ローン業務、クレジットカード・ショッピングクレジット・ペイメント業務など、個人のお客さま向け金融商品販売・サービスを行っています。

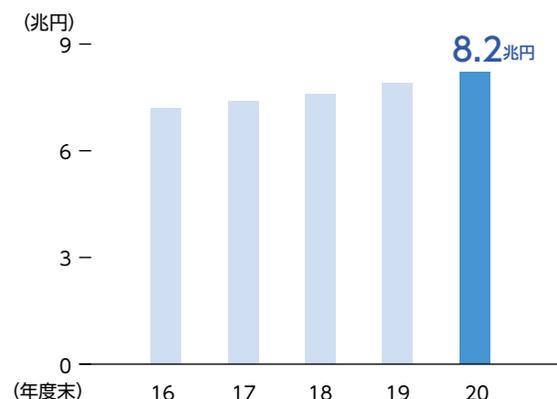


事業法人・金融法人にソリューションを提供する業務、ストラクチャードファイナンス業務、プライベートエクイティ投資や事業承継金融などを行う業務、リース業務、外国為替・金利デリバティブなどの市場ソリューションを提供する市場営業業務などを行っています。

法人業務

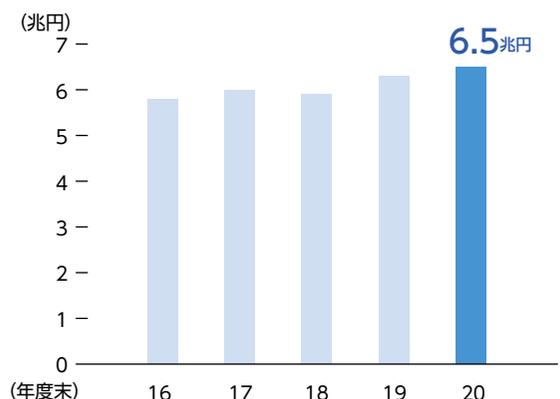
財務ハイライト

営業性資産



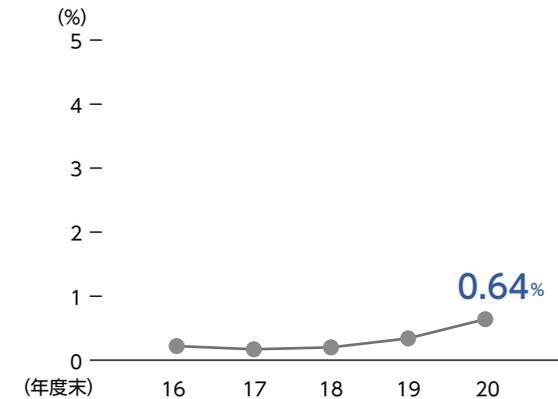
注力分野である機関投資家ビジネスおよび小口ファイナンスを中心に、営業性資産残高が増加しています。

預金残高



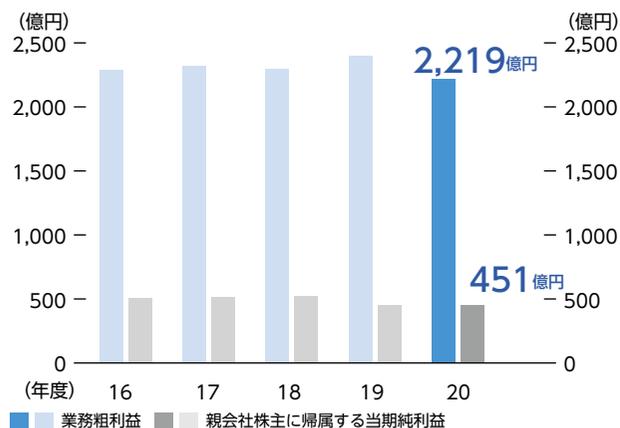
個人のお客さまによる安定的な預金が大半を占め、円貨・外貨とも十分な預金残高を維持しています。

金融再生法に基づく不良債権比率（単体）



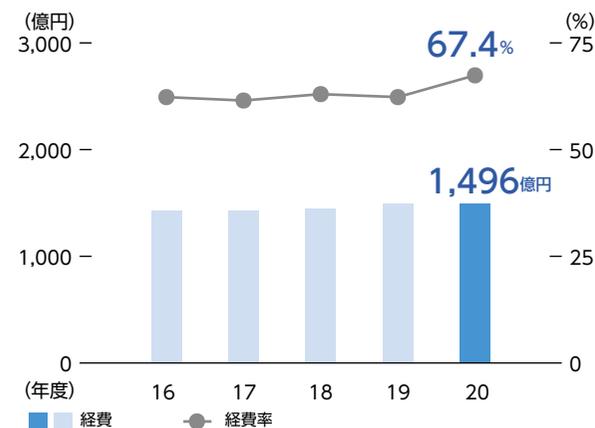
資産の質を示す金融再生法に基づく不良債権比率は引き続き低水準を維持しています。

業務粗利益／親会社株主に帰属する当期純利益



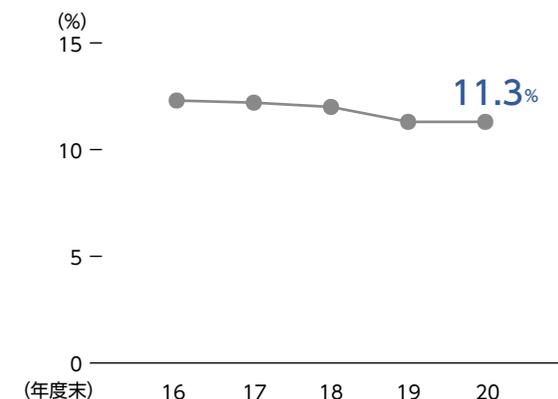
日銀のマイナス金利政策による金融緩和策の継続、不透明な経済環境下において、顧客実需に基づいた安定的な利益の厚みを増すことにより、利益の質の改善に取り組んでいます。

経費／経費率（経営管理ベース）



子会社買収による費用増加はあったものの、システム関連費用を中心とした抑制的な経費運営の推進などにより経費は一定の水準を維持しています。

普通株式等 Tier1 比率（国際基準）



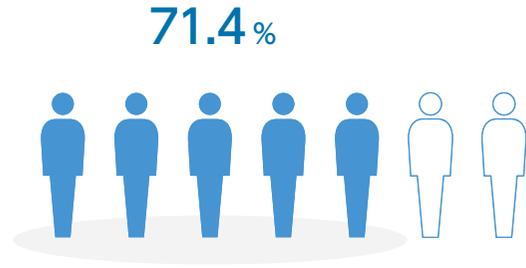
注力分野の営業性資産残高増加等によりリスクアセットが増加したものの、利益の着実な積み上げもあり、自己資本比率は引き続き十分な水準です。

用語解説
&
関連 URL

金融再生法に基づく不良債権比率：総与信残高に対する、金融再生法に基づく開示不良債権残高の比率。
 業務粗利益：貸出金の利息収支などの「資金利益」と、投資商品の販売手数料などの「非資金利益」から構成され、本来業務から得られた粗利益を示す指標。
 親会社株主に帰属する当期純利益：会計上の1年間の最終的な利益。

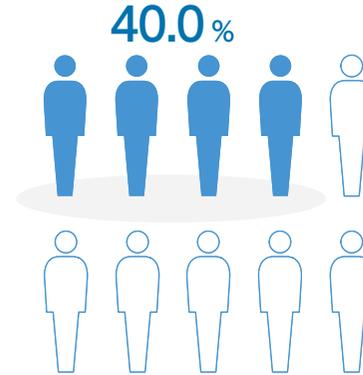
非財務ハイライト

取締役会における社外取締役比率



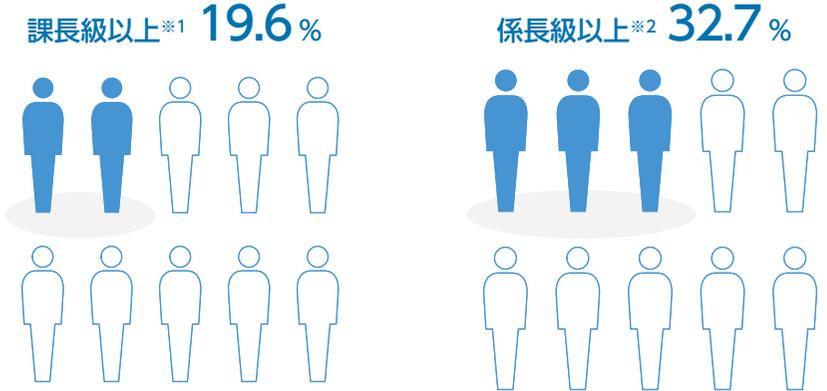
多様なスキルと経験を持つ社外取締役が、当行取締役の過半数を占めています。この体制は、新生銀行スタート時から継続しています。

女性役員比率



当行役員 10 名のうち、女性役員は 4 名です。

女性管理職比率

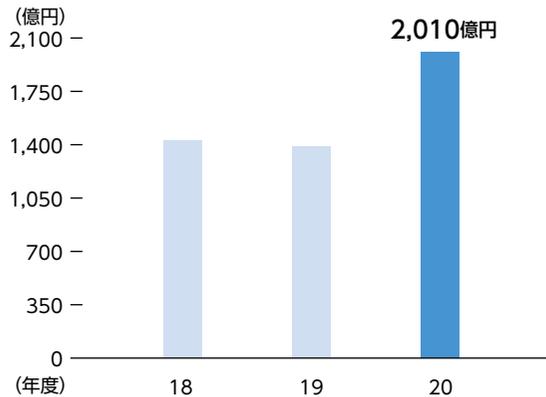


女性活躍推進をダイバーシティ推進の最も重要な課題のひとつとして認識し、あらゆるレベル・職種において、女性がそれぞれの強み・特性を活かし、活躍を続けられるよう、柔軟な働き方・多様なキャリアの選択肢を増やす等の環境整備や取り組みを進めています。

※1 シニアマネージャー・推進役・管理役以上の職位

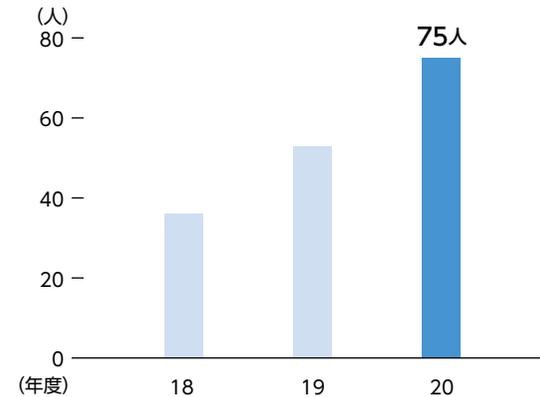
※2 マネージャー・部長代理・部長補佐・上席主任以上の職位

再生可能エネルギープロジェクトファイナンスアレンジ実績



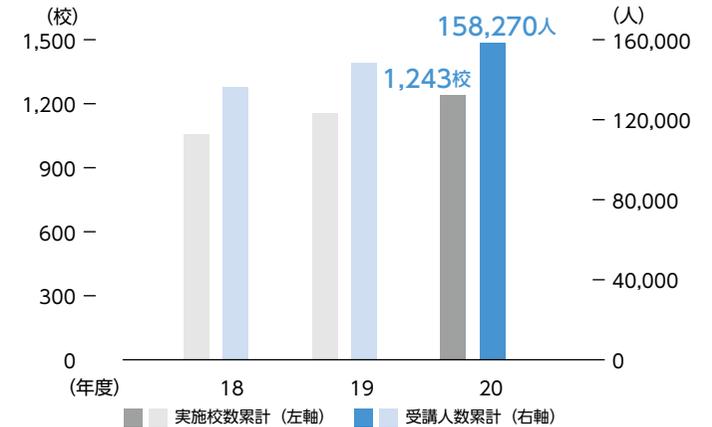
2012 年以来、再生可能エネルギーに対するプロジェクトファイナンス実績を通じて、国内プロジェクトファイナンス投資家層の裾野拡大および地域金融機関とのシンジケーション促進を図っています。

副業・兼業登録者数



社員の多様なキャリアの推進・活用を促進する観点から、2018 年 4 月より副業・兼業制度を開始しました。個人事業型あるいは他社雇用型の兼業ができる制度として、国内金融機関においては先進的な取り組みとなっています。

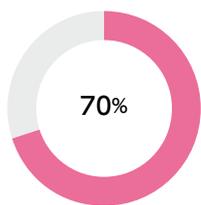
金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」



新生銀行グループでは、若年層の無業化リスクを解決すべき社会課題ととらえ、高校生を主な対象にお金に対する正しい知識や金銭感覚を身につける金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」の普及・拡大に積極的に取り組んでいます。

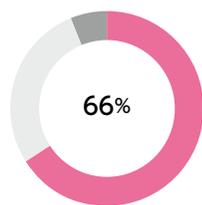
個人業務

業務粗利益

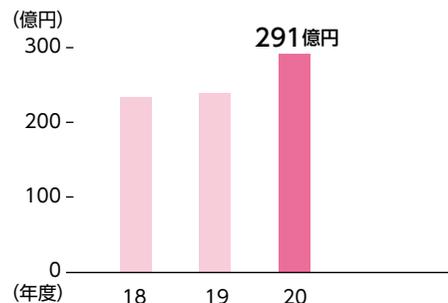
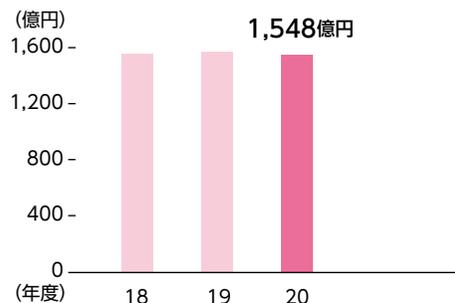


70%

与信関連費用加算後実質業務純益



66%



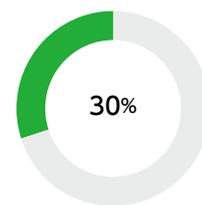
(注) 構成比の合計は、2業務以外に経営勘定/その他があるため、100%にはなっていません。

主な業務内容

- リテールバンキング 円預金・外貨預金、仕組預金、投資信託、提携先を通じた証券仲介、提携先を通じた生命保険・損害保険、住宅ローンなど、個人向けの金融商品販売・サービス
- 新生フィナンシャル 無担保カードローンおよび信用保証業務（新生フィナンシャル、新生銀行カードローンエル（旧新生銀行レイク）、ノーローン、レイク ALSA）
- アプラスフィナンシャル ショッピングクレジット、カード、ローンおよびペイメント業務
- その他個人業務 その他子会社

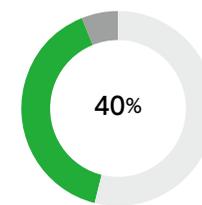
法人業務

業務粗利益

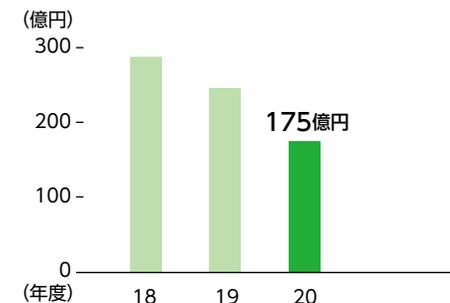
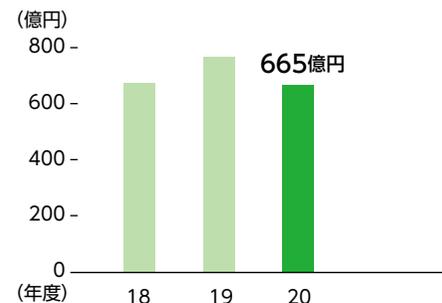


30%

与信関連費用加算後実質業務純益



40%



主な業務内容

- 法人営業 事業法人、公共法人、金融法人向けの金融商品・サービス、アドバイザリー業務、ヘルスケアファイナンス業務、信託業務など
- ストラクチャードファイナンス ノンリコースローンなどの不動産金融業務、建設・不動産業を営む事業法人向けの金融商品・サービス、プロジェクトファイナンス・スペシャルティファイナンス（M&A 関連ファイナンスなど）に関する金融商品・サービス
- プリンシパル プライベートエクイティ業務、クレジットトレーディング業務、事業承継業務、アセットバック投資など
- 昭和リース リースを中心とする金融商品・サービス
- 市場営業 外国為替、デリバティブ、株式関連、その他のキャピタル・マーケット業務
- その他金融市場 新生証券の損益、アセットマネジメント業務、ウェルスマネジメント業務など